

併設自家発電設備(蓄電池等)技術検討用資料
(JET認証品用)

お客さま名 ○○○○○○

1. 蓄電池

項目	仕様	
種別	リチウムイオン蓄電池	
型式	***-****	
製造者	○○○株式会社	
定格電圧	DC180	V
容量	7.200	kWh

2. 燃料電池等

項目	仕様	
種別	個体高分子形燃料電池	
型式	***-****	
製造者	○○○株式会社	
出力	0.800	kW

3. 逆潮流の有無 逆潮流 有・無

4. 逆変換装置

認証登録	<input checked="" type="radio"/> 有・無	承認登録番号	MP-XXXX
型式	**-*****	製造者	○○○株式会社

項目		仕様		項目		仕様	
交流出力関連	電気方式	単相2線式(単相3線式に接続可能)		自動電圧調整装置	<input checked="" type="radio"/> 有・無		V
	定格出力	2.5kW			最大110Vまでの整定可否		
	定格電圧	200V			<input checked="" type="radio"/> 可・否		
	運転効率	0.95以上			整定上限値(ご希望がある場合)		

	系統連系規程標準整定範囲		お客さま設備整定値			系統連系規程標準整定範囲		お客さま設備整定値		
	検出レベル(整定範囲)	検出時間(整定範囲)	検出レベル	検出時間		検出レベル	検出時間	検出レベル	検出時間	
系統事故対策	過電圧(OVR)	115% (110~120%)	1秒 (0.5~2秒)	115V	1.0秒	電圧位相跳躍検出	±3~±10度	~0.5秒	±6度	0.5秒
	不足電圧(UVR)	80% (80~90%)		80V	1.0秒	3次高調波電圧歪急増検出	+1~+3%			
	周波数上昇(OFR)	61.2Hz (60.6~61.8Hz)		61.0Hz	1.0秒	周波数変化率検出	±0.1~±0.3%			
	周波数低下(UFR)	58.2Hz (57.0~59.4Hz)		58.5Hz	1.0秒					
お客さま構内事故対策	過電流素子(OC)付漏電遮断器		適・否			単独運転検出対策	周波数シフト方式	定格周波数の数%	0.5~1.0秒	
	製造者	△△△△	極・素子数	3P3E	スリップモード周波数シフト方式		-			
	逆接続	<input checked="" type="radio"/> 可・否	型式	△△△△	有効電力変動方式		運転出力の数%			
連系の再開	<input checked="" type="radio"/> 自動・手動	復電後	300秒	無効電力変動方式	定格出力の数%					
						新型	ステップ注入付周波数フィードバック方式	-	瞬時	<input checked="" type="radio"/> 有・無

5. 単線結線図, 平面図

単線結線図には、PCS箇所、電線情報(種別、サイズ、長さ)及び漏電遮断器情報(容量、極・素子数、逆接続可能の有無)、併設自家発電設備箇所、CT位置を記入する。
平面図には、受電地点、分電盤箇所、電力量計箇所、PCSおよび併設自家発電設備箇所を記入する。

6. JET認証証明書

JET認証証明書(写)を添付のこと。

工事店情報		
電気工事店名	○○電気工事	様
ご担当者名	△△ △△	様
連絡先	000-0000-0000	

【自動電圧調整装置に関する記載上のお願い事項】

自動電圧調整装置の整定値は、お客さま構内の電圧と発電可否に影響しますので、別添の「太陽光発電の発電抑制について」をご一読頂き、お客さまのご意向を記載下さるようお願い致します。(発電設備の製品仕様を記載する項目ではございませんのでご注意ください。)

◇最大110Vまでの整定可否

余剰電力に伴う電圧上昇による発電抑制を回避するため、自動電圧調整装置の整定値を110V以下の範囲で整定することに同意される場合には「可」、同意されない場合には「否」に○を記してください。

◇整定上限値(ご希望がある場合)

最大110Vまでの整定が「可」の場合は記載不要です。「否」の場合にはご希望の整定上限値をご記載ください。

併設自家発電設備(蓄電池等)技術検討用資料
(JET認証品以外)

お客さま名 ○○○○○○

1. 蓄電池

項目	仕様	
種別	リチウムイオン蓄電池	
型式	***-***	
製造者	○○○株式会社	
定格電圧	DC180	V
容量	7.200	kWh

2. 燃料電池等

項目	仕様	
種別	個体高分子形燃料電池	
型式	***-***	
製造者	○○○株式会社	
出力	0.800	kW

3. 逆潮流の有無 逆潮流 有・無

4. 逆変換装置

型式		***-***		製造者		○○○株式会社	
項目		仕様		項目		仕様	
交流出力関連	電気方式	単相2線式(接続方式単相3線式)		制御電源	保護継電器		
	定格出力	4.8kW			遮断装置		
	定格電圧	200V		混触防止用変圧器	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 / 高周波絶縁トランス内蔵		
	運転力率	95%以上			直流検出	240 mA	時限
主回路方式	インバータ方式	自励式電圧型電流制御方式		自動電圧調整装置	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
	スイッチング方式	PWM方式			最大110Vまでの整定可否	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	
	絶縁方式	非絶縁トランス方式			整定上限値(ご希望がある場合)	V	
電力制御方式		最大電力追従方式		自動同期機能	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 / 自励式の場合必須		
内部保護	DC過電圧	454.5 V	時限 0.5 秒	現流リアクトル	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 / 自励式のため不要		
	DC不足電圧	50 V	時限 0.5 秒	高調波電流歪率	総合	各次	
	AC過電流	33.6 V	時限 0.5 秒		5 %以下	3 %以下	

	系統連系規程標準整定範囲		お客さま設備整定値			系統連系規程標準整定範囲		お客さま設備整定値		
	検出レベル(標準値)	時限(標準値)	検出レベル	時限		検出レベル	時限	検出レベル	時限	
系統事故対策	過電圧(OVR)	115% (110~120%)	1秒 (0.5~2秒)	115V	1秒	受動的 方式	電圧位相跳躍検出	±3~±10度	±6度	0.5秒
	不足電圧(UVR)	80% (80~90%)		80V	1秒		3次高調波電圧歪急増検出	+1~+3%		
	周波数上昇(OFR)	61.2Hz (60.6~61.8Hz)		61.2Hz	1秒		周波数変化率検出	±0.1~±0.3%		
	周波数低下(UFR)	58.2Hz (57.0~59.4Hz)		58.2Hz	1秒		周波数シフト方式	定格周波数の数%		
お客さま構内事故対策	過電流素子(OC)付漏電遮断器					能動的 方式	スリップモード 周波数シフト方式	-	0.5~1.0秒	
	製造者	△△△△	極・素子数	3P3E	有効電力変動方式		運転出力の数%			
	逆接続	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	型式	△△△△	無効電力変動方式		定格出力の数%			
連系の再開	自動・手動	復電後	300 秒			新型	ステップ注入付周波数フィードバック方式	-	瞬時	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

5. 単線結線図, 平面図

単線結線図には、PCS箇所、電線情報(種別、サイズ、長さ)及び漏電遮断器情報(容量、極・素子数、逆接続可能の有無)、併設自家発電設備箇所、CT位置を記入する。
平面図には、受電地点、分電盤箇所、電力量計箇所、PCSおよび併設自家発電設備箇所を記入する。

6. 併設自家発電設備(蓄電池等)仕様書

工事店情報		
電気工事店名	○○電気工事	様
ご担当者名	△△ △△	様
連絡先	000-0000-0000	

【自動電圧調整装置に関する記載上のお願事項】

自動電圧調整装置の整定値は、お客さま構内の電圧と発電可否に影響しますので、別添の「太陽光発電の発電抑制について」をご一読頂き、お客さまのご意向を記載下さるようお願い致します。
(発電設備の製品仕様を記載する項目ではございませんのでご注意ください。)

◇最大110Vまでの整定可否

余剰電力に伴う電圧上昇による発電抑制を回避するため、自動電圧調整装置の整定値を110V以下の範囲で整定することに同意される場合には「可」、同意されない場合には「否」に○を記してください。

◇整定上限値(ご希望がある場合)

最大110Vまでの整定が「可」の場合は記載不要です。「否」の場合にはご希望の整定上限値をご記載ください。